

「ジャパニーズ・ドリーム」と称される理想郷 “ふじのくに”の実現

1. はじめに

静岡県では、県政の基本理念に「富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり」を掲げ、県民幸福度の最大化に向けて、「ポスト東京時代」の新しい国づくりの先導役を担うべく、県政運営に取り組んでいます。また、世界文化遺産の富士山、世界農業遺産の茶草場農法、ユネスコエコパークの南アルプスに続き、昨年には、韮山反射炉が世界文化遺産に登録されるなど、本県の地域資源が続々と国際的に認められ、約40もの世界水準の魅力が備わってきました。

このように「世界に羽ばたく“ふじのくに”」の立ち姿が現れつつあり、今や、この成果を国内にとどまらず、世界に向けて発信する時期を迎えております。

2. 「内陸のフロンティア」を拓く取組み

本県では、県政の最重要施策の一つに、「内陸のフロンティア」を拓く取組みを掲げております。「東海地震」に備えてきた本県は、自他ともに認める「日本一の防災先進県」です。東日本大震災の甚大な被害や、国が発表した南海トラフ巨大地震の被害想定を受け、防災・減災と地域成長の両立を目指す「内陸のフロンティア」を拓く取組みを推進することとし、平成25年2月に国の総合特区の指定を受けています。平成26年度には、財政面や金融面等の支援を行う県独自の内陸フ

ロンティア推進区域制度を創設し、市町や関係団体と一体となって先導的モデルの創出を推進しています。

この取組みは、災害への備えを最優先と捉えつつ、平時においても、本県が有する人・モノ・大地の多彩な場の力を活かし、内陸・高台部のイノベーション(革新)、沿岸・都市部のリノベーション(再生)と、両地域を結ぶ多層的な地域連携軸を形成するとともに、静岡ならではの新しいライフスタイルを提案するものです。

(1) 内陸・高台部のイノベーション(革新)

本県の内陸・高台部は、豊かな自然、美しい景観、固有の歴史文化を有し、多品種・高品質の農芸品に恵まれており、新しい産業の集積やゆとりある生活空間の提供などを進め、「農芸都市(ガーデンシティ)」とも呼びうる美しい景観と個性を備えた魅力ある地域づくりを目指しています。

これまでに、富士山を借景にした森に佇む工業団地の造成や、地場産品を活用した6次産業化施設の整備等が進んでいます。

(2) 沿岸・都市部のリノベーション(再生)

沿岸・都市部は、沿岸域の防災・減災対策を最優先とし、都市の防災機能を高め、都市の利便性や機能性を保ちつつ、居住環境を向上させ、住民の満足度を高める地域づくりを目指しています。

静岡県知事 **川勝 平太**



これまでに、地域の特性に応じた津波対策を「静岡方式」と称し、平時は地域住民の憩いの場となる「森の防潮堤づくり」などの対策を進めています。

また、漁港周辺における観光交流施設と津波避難タワーの一体的整備や、付加価値の高い農産物の栽培による耕作放棄地の再生等の取組みが進んでいます。

(3) 多層的な地域連携軸の形成

本県では、全国に開かれた道路網を構築するため、県土を東西に貫く東名高速道路と新東名高速道路のダブルネットワークに加え、中部横断自動車道、三遠南信自動車道、伊豆縦貫自動車道等の南北の高規格幹線道路の整備が進められるとともに、これら幹線道路と地域とを結ぶ道路網等の整備を推進しています。特に、中部横断自動車道では、本県の港湾物流の中心的役割を果たす清水港と、山梨県や長野県などの甲信地域が結ばれることから、その開通を見据え、さらなる物流機能の強化や、産業の一層の発展に繋げるため、船舶の大型化等に対応した清水港の整備を推進しています。

また、駿河湾の「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟を契機に、ブランド力を活かした国内外への情報発信を行い、クルーズ船の誘致に繋げるとともに、富士山静岡空港の機能強化により、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る取組みを進めていきます。

(4) 新しいライフスタイルの実現の場の創出

豊かな自然環境の保全と復元を図りながら、生活と自然の調和する快適な暮らし空間を実現するとともに、地域の特色ある自然資源等を活用したエネルギーの地産地消を進め、新しいライフスタイルの実現を目指しています。

これまでに、工業団地の造成が進む新東名高速道路等の周辺地域では、雇用者の受け皿となる職住近接の住宅地が計画され、景観に配慮したゆとりある生活空間の実現が進んでいます。

また、県外の大学生と地域住民の連携による集落の活性化や、ICTを活用したサテライトオフィス等の誘致による就労機会の創出等の取組みが進んでいます。

3. おわりに

東日本大震災から5年が経過し、この間、広島のと砂災害や鬼怒川の氾濫、また、本年4月には熊本地震が発生しました。被災地の方々には、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

南海トラフ巨大地震の発生が懸念される本県では、こうした災害を正に我が事として、これまでの災害から学んだ教訓や知見を最大限に活かしながら、美しく、強く、しなやかな「静岡型」の施策を推進し、海外からも憧れを呼ぶ、いわば「ジャパニーズ・ドリーム」の理想郷“ふじのくに”づくりを進めてまいります。